

議会だより



優雅なひととき
おいしいお茶に
感激しました

決算特別委員会報告……………	2
第3回定例会で決まったこと……………	4
審議した議案と各議員の賛否……………	8
一般質問 町政を問う……………	9
議会の動き・研修報告……………	17
追跡調査・編集後記……………	18

質疑・答弁

決算特別委員会での主な

第3回定例会初日の9月5日、町長から提案された令和4年度城里町決算（6会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

予算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月6日に委員会を開催し、令和4年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

歳入

問 森林環境譲与税の使い道は。

答 国から譲与された森林環境譲与税は基金に積み立てし、その基金を取り崩して塩子地区の森林管理について現況調査を実施しました。

問 入浴施設ごとの入湯税の内訳は。

答 町内には入浴施設が2ヶ所あり、ホロルの湯は13万8,486人で2,077万2,900円、水戸温泉開発（水戸レイクス）は、7,474人で112万1,100円の入湯税です。

歳出

問 ふるさと応援寄附金の実績は。

答 令和3年度の寄附件数は180件で、寄附金は450万3千円だったが、令和4年度は寄附件数が1,507件で、寄附金は1,762万

9,400円になりました。

問 ふるさと応援寄附金が増えた理由は。

答 増えた要因の一つに、返礼品のお米の種類を増やしたり、ふれあいの里のキャンプ場の早期予約枠を追加したこと等が考えられます。

問 七会町民センター管理運営事業で、バーベキュー場の維持管理費と利用収入額は。

答 維持管理に480万円かかり、利用収入は32万5,380円でした。

問 旧老人福祉センターの除草事業で、町内には旧老人福祉センターが3ヶ所あるが、金額の内訳は。

答 旧やまゆり荘は27万6,600円、旧桂老人福祉センターは38万600円、旧高田荘は69万800円の除草費用がかかっています。

問 住宅の新築工事等を行った方への補助実績が2件と少ないが、なぜか。

答 町内の業者が請け負って建てた住宅でないこと、補助の対象にならないことから、件数が少ないと考えられます。

問 国民健康保険特別会計（後期高齢者医療特別会計）質疑はありませんでした。（介護保険特別会計）

問 過疎地域では、介護事業を社会福祉協議会が行うことで事業が成り立っている現状があると聞く。町内の訪問介護事業者数と、今後の介護サービス状況について。

答 町内には訪問介護事業所が3ヶ所あり、中でも実績を上げているのが町社会福祉協議会です。ヘルパー登録平均年齢が65歳で、最高齢は75歳のため、身体的介護（入浴介助等）サービスの提供は難しくなってくるかもしれないと聞いています。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月7日に委員会を開催し、令和4年度一般会計決算の所管分・水道事業会計・下水道事業会計の決算について審査しました。



教育産業常任委員会の審議状況

歳入

問 町営住宅の使用料の収入未済額は。

答 現年度分は137万4,900円、過年度分は4,402万400円の収入未済となっています。

問 学校給食費の収入未済の対象者は。

答 給食費無料化になる前の、平成14年から平成29年度に在学していた児童100名が対象です。

問 中山間地域所得確保推進事業の取り組みと成果は。

答 古内茶生産組合の所得向上のため、生産販売戦略の検討等を行った事業で、栽培講習会の実施、県の圃場確認を行ったことにより、今年度は品質がよくなり、売上も伸びていると聞いています。

問 放牧場の利用状況は。

答 放牧場は町内に3ヶ所あり、鍛冶屋沢放牧場は4頭、矢の目沢放牧場は3頭、小勝放牧場は5頭の利用となっており、年々利用が減っています。

問 町営住宅修繕事業の内容は。

答 茨城県住宅管理センターに、町営住宅の維持工事、退去後の修繕工事を委託している事業です。南団地・米沢団地については取り壊しを予定しているため、大掛かりな修繕工事はせず、必要最低限の修繕をしています。

(水道事業会計)

問 水戸市に比べて水道料金が高いのはなぜか。

答 茨城県内の水道料金の指標だと、城里町の水道料金は、県内でも中間の水準であり、決して高い訳ではありません。しかし、隣接する水戸市は県内でも水道料金が安いと、城里町に転入したときにより高いと感じるようです。

(下水道事業会計)

問 農業集落排水の今後について。

答 現在、上入野、青山、古内、北方、高久、孫根地区で農業集落排水事業を行っています。上入野地区については、供用開始から25年以上経過し、老朽化も進んでいることから、総合的に判断し、流域下水道に接続することで、農業集落排水事業を廃止する予定です。

歳出

問 農地地図管理事業の内容は。

答 8月に農業委員14名と、最適化推進委員16名でタブレットを活用した荒廃農地の現地確認を行いました。農地面積2,846haのうち、荒廃農地は276haと全体の9.7%が荒廃農地という結果でした。

問 町道維持補修事業で、区長要望に対しての実施状況は。

答 令和4年度の実績で、区長要望は165件で、一般の方からの通報も含め212件の要望のうち、84%の179件について修繕等を実施しました。

第3回 定例会

第3回定例会は、9月5日から15日の11日間の会期で開催し、条例改正1件・路線の変更1件・損害賠償額の決定等3件・補正予算6件・人事関係4件・決算認定6件が上程され、全ての議案について、原案のとおり可決・認定しました。また、請願1件・陳情1件・報告は13件ありました。

条例改正

可決

議案第41号

▽城里町使用料及び手数料
条例の一部を改正する条例について

(特産品直売所「ななかい」及び役場本庁舎の電気自動車用急速充電器の使用料を廃止し、役場本庁舎電気設備等使用料を追加するもの)

路線の変更

可決

議案第42号

▽町道路線の変更について
(町道の延伸に伴い、路線を変更するもの)

路線名(石塚地内)
町道1539号線

損害賠償額の決定等

可決

議案第43号

▽損害賠償額の決定及び和解について

(令和5年4月7日、常北小学校駐車場における、本町会計年度任用職員による物損事故の損害賠償額を決定し、和解することについて議決を求めるもの)

議案第60号
議案第61号

▽損害賠償額の決定及び和解について

(令和5年7月10日、町営池の内団地において、老朽化した水道管により発生した漏水事故の損害賠償額を決定し、和解することについて議決を求めるもの)

傍聴者報告

第3回議会定例会

(令和5年9月5日～15日)

合計65人

次回の定例会は、令和5年12月5日からを予定しています。

傍聴される方は、本庁3階議場前で傍聴受付簿に必要事項を記入し、ご入場ください。
議場の傍聴席の定員は30名です。



車いすでの傍聴も出来ます。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL.029-288-3111 (内線302) <https://www.town.shirosato.lg.jp>

補正予算

否決

議案第44号

▽令和5年度城里町一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議

(**関議員ほか5名の議員より修正案が提出されました**)

修正の内容

防災・節電対策として計上されたストーブ代を減額し、ストーブに関連する携行缶、給油用ポンプ及び灯油購入費を減額。

修正の理由

提出者 関 誠一郎 議員

今、地球規模で温室効果ガス排出ゼロを目指す宣言をしており、また、城里町でも令和2年にゼロカーボンシティの実現に向けて協議会に参加している。今回の石油ストーブ導入は協議会に対しての抜け駆けであり、町長の考えに賛同することは出来ない為、石油ストーブ購入費は認めない。

修正案に反対

鯉淵 秀雄 議員

財政にとって大きな課題が、増大する電気料金で、昨年度の9,000万円に対して、本年度は1億9,000万円、1億円の増加が見込まれる。庁舎内を暖かく保ちながら、節電の方法として石油ストーブを活用することは大変有効なものになる。このような節電の努力を積極的に後押ししていくべきと考える。学校においては危険の少ないブルーヒーターを設置するなど配慮がなされておられ、適切な管理が行われればリスクはないと考える。

修正案に賛成

猿田 正純 議員

気象庁は、この夏が過去126年で、最も暑い夏になったと発表。国連の事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と警告。この高温は「人類による温室効果ガスの排出が主因」で、石炭や石油を燃やす事で排出され、気温上昇の要因となり地球温暖化につながる。行政が化石燃料を燃やし温室効果ガスの排出を助長するのは、時代に逆行している。世界中がカーボンニュートラルに向かう時に、「城里町が二酸化炭素排出を増進する町」と言われたいためにも、修正案に賛同する。

可決

議案第44号

▽令和5年度城里町一般会計補正予算(第4号)について

追加補正額

2億3,324万8千円

主な事業

- ・ 開発公社経営診断
- ・ ふれあいの里合併浄化槽設置
- ・ 鳥家住宅進入路測量
- ・ 暖房器具(ストーブ)
- ・ コロナワクチン在庫負担金返還
- ・ 高齢者施設整備補助
- ・ 儲かる産地支援
- ・ 道路維持補修
- ・ 町営住宅修繕
- ・ 入学支援金

予算総額

107億3,923万8千円

議案第45号

▽令和5年度城里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

追加補正額

895万2千円

主な事業

・令和4年度分の繰越金を基金に積み立て

予算総額

21億7,405万7千円

(施設勘定)

追加補正額

98万3千円

主な事業

・昇給による人件費の増

予算総額

2億2,837万9千円

議案第46号

▽令和5年度城里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

追加補正額

15万円
主な事業
・保険料還付金

予算総額

2億6,985万6千円

議案第47号

▽令和5年度城里町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
(保険事業勘定)

追加補正額

1億623万2千円

主な事業

・介護予防事業
・令和4年度分の繰越金を基金に積み立て

予算総額

26億5,093万8千円

(介護サービス事業勘定)

追加補正額

89万円

主な事業

・令和4年度分の繰越金

予算総額

599万5千円

議案第48号

▽令和5年度城里町水道事業会計補正予算(第1号)について
(収益的収入及び支出の既決予定額に変更はなし)

(収益的支出)

・電気料金を減額し、消費税及び地方消費税を増額

議案第49号

▽令和5年度城里町下水道事業会計補正(第1号)について
(収益的収入及び支出の既決予定額)

減額補正額

202万7千円

主な事業

・処理場電気料金の減

収入支出予定額

10億3,747万3千円

(資本的支出)

追加補正額

678万7千円

主な事業

・石塚地区の汚水管渠埋設工事

収入支出予定額

8億5,798万2千円



城里町議会の本会議を見てみませんか

城里町議会では、本会議の録画した映像データをYou Tubeで配信しています。
城里町公式ホームページ トップページから



また、本会議の生中継配信を始めました。
会期中のみ、ご覧いただけます。

議会事務局 をクリック

議会事務局 をクリック

⇒ 議会録画映像 をクリック

⇒ 議会生中継 をクリック



決算認定

認定

議案第50号から

議案第55号まで

▽令和4年度城里町一般会計決算認定について

▽令和4年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について

▽令和4年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について

▽令和4年度城里町介護保険特別会計決算認定について

▽令和4年度城里町水道事業会計決算認定について

▽令和4年度城里町下水道事業会計決算認定について

議案第50号から第55号「決算認定」の審議内容については、
P 2 - 3「決算特別委員会報告」をご覧ください

「決算認定」の役割

決算は、城里町に入ったお金(収入)や使ったお金(支出)の実績です。
「決算認定」とは、議会が1年間の決算内容を確認し、確定することです。法律に適合しているか、計算は正しいか、使われ方は適正かなどを審査するだけでなく、過去の財政状況と比較して問題点を指摘し、将来に反映させるなど大切な役割があります。

人事

可決

議案第56号から

議案第59号まで

▽人権擁護委員の推薦について

次の方の推薦を可決しました。

仲田 不二雄(上 坏)

五十嵐 雅 晴(阿波山)

和 氣 力(徳 蔵)

山 口 利 春(徳 蔵)

任期

令和6年1月1日から

3年間



請願

採択

請願第2号

▽ホタルを「町の虫」に制定することに関する請願



陳情

継続審査

陳情第1号

▽教職員定数改善と義務教育国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、棄は棄権、－は欠席、※は除斥の対象（自己の一身上に関する事件については、議事に参与できないこと）による退席

議案番号等	議案名等	賛否数		議 員 名													
		賛成	反対	高橋裕子	金長秀範	綿引静男	飯村栄	桜井和子	加藤木直	猿田正純	藤咲芙美子	片岡藏之	三村孝信	関誠一郎	鯉淵秀雄	小坪孝	阿久津則男
■第3回定例会（令和5年9月5日～15日）																	
議案第41号	城里町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	町道路線の変更について	11	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	損害賠償額の決定及び和解について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和5年度城里町一般会計補正予算（第4号）について	6	7	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	
議案第44号	令和5年度城里町一般会計補正予算（第4号）について	7	5	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	棄	○	×	
議案第45号	令和5年度城里町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第46号	令和5年度城里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第47号	令和5年度城里町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第48号	令和5年度城里町水道事業会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第49号	令和5年度城里町下水道事業会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第50号	令和4年度城里町一般会計決算認定について	10	3	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
議案第51号	令和4年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第52号	令和4年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第53号	令和4年度城里町介護保険特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第54号	令和4年度城里町水道事業会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第55号	令和4年度城里町下水道事業会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第56号	人権擁護委員の推薦について（仲田不二雄氏）	12	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	
議案第57号	人権擁護委員の推薦について（五十嵐雅晴氏）	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	人権擁護委員の推薦について（和氣力氏）	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	人権擁護委員の推薦について（山口利春氏）	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	損害賠償額の決定及び和解について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	損害賠償額の決定及び和解について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長のため採決に加わっていない

一般質問

町政を問う

今回7名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 10

1. 奨学金の利用拡大について
2. 水道の現状について
3. 適切な職員配置を

綿 引 静 男 議員 …………… 11

1. 残土ストックヤードについて(常北中学校東側)
2. 残土ストックヤードの跡地利用について
3. 常北中学校周辺のインフラ整備について

高 橋 裕 子 議員 …………… 12

1. 子育て支援として
2. 小中学校の生理用品について

金 長 秀 範 議員 …………… 13

1. 「新観光拠点創出・誘客プロジェクト構想」について
2. 「新お祭りイベント創設」について
3. 「新乾杯条例制定」について

桜 井 和 子 議員 …………… 14

1. 子育て支援施策の強化について
2. 自転車利用者へのヘルメット購入支援について
3. サニタリーボックスの設置について
4. 七会小学校の今後について

加藤木 直 議員 …………… 15

1. 城里町共同放牧場について
2. 開発公社全般について

猿 田 正 純 議員 …………… 16

1. 上下水道に関する一連について
2. 指定管理者と開発公社について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の
寄稿によるものです。

奨学金の利用拡大について



藤咲 芙美子 議員



こちらから
動画が視聴できます

《教育長》 慎重に協議を進める

藤咲 奨学金について問う。私は若い人たちが大いに学んで、社会にはばたくのを応援したい。制度の活用で若者たちに有効な投資をするのは社会の役割だ。

①町の奨学金制度の周知徹底を ②返済困難に陥っている人を援助する ③月々の負担軽減のため返還の期間を延長できないか ④無利子の貸与であっても半額は給付型にできないか。

教育長 現在、広報紙とホームページで案内をしている。返還の期間延長は厳しいと考えている。基金の延長は別の方法で学生や勤労青年の支援を考えている。国への要請も行う。

水道の現状について

《町長》広域化事業に全面的に協力

藤咲 石塚浄水場をなくすとなれば、小松浄水場からの水を活用するのが合理的だと思いが、近隣からの水の融通も考えるべきだ。水道の広域化にはたくさんの方のデメリットがある。参加すべきではない理由を述べる。

(1) 水は命。水道事業は厚労省から国交・環境省に移管し安全安心が保障されない。

(2) 茨城県の計画は不透明。

(3) 民営化になれば水は商品となる。

(4) 従来の水源は保全されず、市町村の浄水場を閉鎖させる。災害時のリスクに備えるべきだ。

(5) 新たなダム、大規模な公共事業に道を開く。

(6) ヨーロッパでの再公営化や国内の広域化失敗の例にも学ぶべきだ。

町長 県の進める広域化事業に全面的に協力していく立場にある。水道の広域化も、小さな自治体を助けるために進めている。

藤咲 施政方針で町長は「残業の少ない城里町役場を目指す」と述べた。「働き方改革」とは働く人の環境整備が第一だ。だが、職員から「職員が少ない」との訴えを聞いた。この間の入湯税の申告漏れの報道でも「チエツクが不十分」と町長はいう。適切な人員確保が必要ではないか。

町長 大洗町と比べても、城里町は適切な規模である。

適切な職員配置を

《町長》適切な規模

石塚浄水場





わたりき しずお 綿引 静男 議員

残土ストックヤードについて (残土処理場及びストックヤード) (常北中学校東側)



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 7,000万円の運搬費が節約 できる

綿引 町では常北中学校東側の耕作放棄地を購入して残土処理場及びストックヤードに指定している。ここには何㎡の残土を搬入できるか、また増井と上入野の下水道工事では何㎡の残土発生が見込まれるか。

町長 全体の能力としては16,000㎡、下水道工事では5,000㎡の発生土を見込んでいる。

綿引 いつごろまでに満杯になるか。

町長 おおむね令和8年度末に満杯となる予定である。

綿引 町内に運搬することで町外に運搬することと比較して、満杯になるまでにどのくらいの費用縮減が期待できるか。

町長 片道20kmで試算するとおおむね7,000万円の運搬費の節約が可能となる。

綿引 残土の搬入が終わった後、町の一等地ともいえる場所をそのままに置いてはもつたいない。桜や芝生を植えて公園にしてはどうか。新道川の遊歩道と一体となり、町民に安らぎを与える新しい場所になると思うか。

町長 令和元年に設置した城里町建設残土処理場及びストックヤード検討委員会において、残土搬入が終了した後の活用について中学校やグラウンド利用者の駐車場としての利用や、緑化することでの憩いの場としての活用が可能であると総合的に評価され事業に着手した経緯がある。



公園整備については町民及び地域住民の意見等を踏まえ、良好な市街地の形成を図るために、今後方針を検討していきたい。

緑化などで町の中心部で住民の方が憩えるような場所にしていくというのは大変すばらしい考え方だと思う。

綿引 様々な観点から調査や研究をして、町民のためのよりよい環境整備の取り組みを要望する。



綿引 常北中学校西側の町道では、周辺からの雨水の流入により道路が頻繁に冠水している。また給食センターから上流の橋付近では越水や道路冠水が発生している。これらを防ぐために今後措置をしていく考えはあるか。

町長 常北中学校西側では冠水が頻繁に発生している。対策として側溝の土砂・ごみ等の撤去や排水設備を大型化するなどが必要になる。河川整備と併せて道路排水能力の改善などを検討し進めていきたい。

残土ストックヤードの跡地利用について

《町長》今後方針を検討していきたい

常北中学校周辺のインフラ整備について

《町長》検討し進めていきたい

子育て支援として



たか 高橋 ゆうこ 議員



こちらから動画が視聴できます

《町長》 0歳からの無償化に向けて検討

高橋 感染症による閉園時の保育料はどうしているか。

町長 コロナウイルスによる閉園時の保育料は、減免、還付となっていた。

高橋 保育料は3歳以降は無償化されているが、0歳から2歳は、収入によって変動する。

茨城県の平均収入は約400万円と言われており、5階層が目安となり、城里町の保育料は月々2万5千円。大子町は、0歳から無償化している。

小さな子供ほどよく休み、時給制で働く方は収入が入らず、少しの咳や鼻なら登園させたい気持ちは理解できる。

保育料が掛からなければ、仕事を休むハードルは下がると思うが、0歳から無償化出来ないか。

幼稚園・認定こども園の保育料（授業料）基本月額

3号認定(0~2歳児)	町民税所得割(推定年収)	国		城里町	
		第1子	第1子	第2子	第3子以降
1階層	生活保護	0	0	0	0
2階層	町民税非課税(〜260万円)	0	0	0	0
2階層(ひとり親世帯)		0	0	0	0
3階層	48,600円未満(〜330万円)	19,500(19,300)	10,000(9,800)	5,000(4,900)	0
3階層(ひとり親世帯)		9,000(9,000)	4,500(4,400)	0	0
4階層	57,700円未満	30,000(29,600)	19,000(18,600)	9,500(9,300)	0
4階層(注1)	77,101円未満(〜360万円)	9,000(9,000)	9,000(9,000)	0	0
4階層	97,000円未満(〜470万円)	30,000(29,600)	19,000(18,600)	同時入所 9,500(9,300)	同時入所 0
5階層	169,000円未満(〜640万円)	44,500(43,900)	25,000(24,400)	同時入所 12,500(12,200)	同時入所 0
6階層	301,000円未満(〜930万円)	61,000(60,100)	37,000(36,200)	同時入所 18,500(18,100)	同時入所 0
7階層	397,000円未満(〜1,130万円)	80,000(78,800)	41,000(40,100)	同時入所 20,500(20,050)	同時入所 0
8階層	397,000円以上(1,130万円〜)	104,000(102,400)	46,000(45,000)	同時入所 23,000(22,500)	同時入所 0

近隣町村の5階層利用料金は、
茨城町：40,000円／大洗町：35,000円〜44,000円／東海村：21,000円〜24,500円／大子町：無料となっている。

町長 茨城県で一番子育てしやすい町を目指している。大子町と並んで、学校給食費などもトップグループで無償化をしてきたが、保育料無償化は現時点で遅れをとっている。0歳からの無償化に向けて検討していく。

高橋 学童に2人以上の児童を預ける家庭も多くあるが、料金は変わらない。預けたいが家計を圧迫するので、不安はあるが家で待たせている家庭もある。2人目以降の利用料金の引き下げは出来ないか。

町長 全ての利用料金の無償化は難しいが、2人目3人目について経済的負担を軽減している自治体がある。同様の制度を検討していきたい。

高橋 今後の城里町にとって、働きながら子育てしやすい事は重要である。



小中学校の生理用品について

《教育長》常備する学年を引き下げる

高橋 初経を迎える時期の低年齢化が進んでいる。トイレに生理用品を常備する学年の引き下げは出来ないか。

常備する学年を引き下げる方向で協議している。

高橋 保護者にも常備してある旨の周知をアプリなどでお願いたい。

教育長 9歳から初経を迎える子供が見られるという統計がある。



かねなが ひでのり
金長 秀範 議員

「新観光拠点創出・誘客プロジェクト構想」について

《町長》 国・県と協議を進める



こちらから
動画が視聴できます

金長 城里町初の試みとして、しろさと古内茶乾杯条例（通称お茶で乾杯条例・緑茶で乾杯条例）を制定してはいかがか。ペットボトルも生産する事で加工工場が出来雇用が生まれ、生産性を高め流通を増やし販売増になることで、お茶農家の

後継ぎ問題や担い手不足解消にもつながる。お茶に含まれる成分には効用が多く、健康を意識した町としても評価が高まるのでは。
町長 城里町産の緑茶で乾杯する条例という形で条例化に向け検討していく。



金長 御前山大橋建て替え工事に伴う令和8年春「道の駅かつら」移転リニューアルオープン及び阿波山・徳蔵線ビーフラインバイパスの開通を機に、この絶好のタイミングを逃すことなくチャンスを逃して、新名所、年間通しての城里町観光拠点・誘客の起爆剤にすべく「御前山と那

珂川を活性化する会」という部会が旧桂村住民を中心に立ち上げる。近年加速度的に整備事業を進めている茨城県とも連携し、鶏足山のような駐車場整備や森林環境税も有効活用し、しろさと里山連山・ロマンチックアルプス（仮称）及びサイクリングコースの整備を提案する。

「新乾杯条例制定」について

《町長》 条例化に向け検討していく



町長 関係機関、ボランティア団体と連携しつつ、国・県と協議を進める。

そこで、全国どここの自治体でもやっていない歌で仲良く元気にコミュニケーション「しろさと紅白歌合戦」開催を提案する。ポイントは、必ずペアになりデュエットを組んでもらう。公民館や各地区で練習し予選会を開催、代表一組を選び年末にコミュニケーション



金長 この町にとって大切なことは、子供達への支援や政策だけではなく並行して住民人口比率の高い高齢者への地域コミュニケーションの形成にも繋がる社会参加機会の促進・楽しみ場の提供及びシニア世代の生きがいづくり・取り組みへの支援施策も大変重要になってくる。

センター城里大ホールで歌う。出場を目指すことで普段の練習からモチベーションアップにも繋がり、地域間で集い・交流・会話がなされる事で高齢者や一人暮らしの健康状態・情報共有による現状確認の一助にもなると思うが。
町長 実現すれば盛り上がる企画になるので、前向きに検討する。

「新お祭りイベント創設」について

《町長》 前向きに検討

子育て支援施策の強化について



桜井 和子 議員



こちらから動画が視聴できます

《教育長》 学校の体育館へのエアコン設置を検討

桜井 本年4月から、すべての自転車利用者に対しヘルメット着用が努力義務となりました。ヘルメットを着用していない場合、事故を起こした際に命を落とす危険性がデータ上2.6倍になっている。

《町長》検討する

自転車利用者へのヘルメット購入支援について

自転車利用者保護のため、ヘルメットに補助はできないか。
町長 国や県、近隣市町村の動向を注視し検討する。



自転車用ヘルメット

サニタリーボックスの設置について

《総務課長》設置を進める

桜井 記録的な猛暑が続き、子供達の学びの場に影響が出ている。安全に授業や行事が行えるよう小・中学校の体育館にエアコンの設置はできないか。
教育長 避難所としての開設順位が高い常北公民館の体育館、桂体育館について検討する。その後、学校の体育館のエアコン設置を検討する。

桜井 男性にしか罹患しない前立腺がんや、男性の罹患数が圧倒的に多い膀胱がんなどの病気や加齢などで、尿漏れパッドを利用している方が安心して外出できるよう、町内の公共施設、男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置できないか。

総務課長 本庁舎、保健福祉センターから設置を検討する。公共施設についても順次計画的に設置を進める。

七会小学校の今後について

《教育長》統廃合は考えていない

桜井 町内5ヶ所の小学校の児童数は、どこも減少している。中でも七会小は児童数40名で、2年生と4年生は3名と特に少ない。きめ細やかな指導などメリットもあるが、国語や算数のように単学年でしか行う事ができない教科においては、友人のいる異なる考え方に触れたり、自分の考え方を表現する力の育成にも影響があるのではないか。

七会小の今後について、どの様に考えているか伺う。

教育長 入学予定者数からみると30人後半の人数は維持できる。10年ぐらいの近い将来では、七会小を統廃合することは考えていない。

桜井 未就学の保護者の中には、人数が少なく心配という声もある。保護者に対してアンケート調査が必要ではないか。
教育長 就学時の健康診断の際、意見を聞く機会はある。
桜井 突然意見を聞かれても、自分の考えを正確に伝えるのは難しいのではないか。タイムリングをみてアンケート調査をお願いしたい。



七会小学校



加藤木 直 議員

城里町共同放牧場について



こちらから動画が視聴できます

《町長》 矢の目沢放牧場を閉鎖し 借地を返還

加藤木 この地域に和牛の一大生産基地を造るという考えの下、ピーク時は、500超の農家があった。現戸数、放牧場の利用状況を伺う。

農業政策課長 飼養農家は16戸、今年度の利用状況は現在12頭である。

加藤木 山林化されている牧区もある。そのままにできない。有効な利用方法はあるのか。

町長 山林化が進んでいるのは、矢の目沢放牧場だ。本年度末をもって桂村和牛改良組合の解散が決定した。閉鎖後は、借地契約期限の令和6年度末をもって返還の方向で進めたい。

加藤木 無駄な経費の支出を控えながら、引き続き歴史ある畜産業の振興に努めていただきたい。

開発公社全般について

《町長》理事会は開催していない



町肉放牧場

加藤木 町の指定管理料は、うぐいすの里は800万強を支払い、利用収入は46万円弱。またアツマーレのパーベキュー場は指定管理料500万弱を支払い、利用収入は33万円弱で、単に税金を使っているだけである。今後の対応は。

まちづくり戦略課長 私からの答弁は、差し控えていただくといい。

加藤木 この収入金額では、業者ならやらない。開発公社は100%町が出資している。町も議会も予算の執行状況に必要な措置を求めることが出来る。今後注視する。

加藤木 ホルルの湯の入湯税700万強の申告漏れの原因を伺う。

町長 入退館システムにおける処理の誤りが原因である。

加藤木 入湯税は入るときにもらうもの。間違えるのがおかしい。



城里町環境センター

加藤木 ごみ処理場がある地元の住民は、迷惑施設があるという理由で無料で入湯できると聞いたが本当か。

まちづくり戦略課長 地元の方は無料で、入湯税は町民課で支払っている。

加藤木 地元迷惑施設と思うなら各自自治会に迷惑料を出した方が、公平ではないか。税の無料は、再考すべきだ。

加藤木 公社は5年間の入湯税申告漏れを町税務課に修正申告し約900万を9月8日に納めたと聞くが、最高決定機関である理事会はいつ開催したのか。

町長 理事会は開催していない。各理事に電話、面会により説明した。

加藤木 最高意思決定機関の理事会を開催せず、電話や面会でやるのは組織としての体を成していない。

公社には、税理士がいると聞く。税のプロがいてなぜこの様な申告漏れが起きるのか疑問だ。加算金、延滞金などの損害賠償請求をするべきだ。

上下水道に関する一連について



さる た まさみ 猿田 正純 議員



こちらから動画が視聴できます

《町長》 下水道事業が行われるのは令和8年度以降

猿田 令和元年時、町長は公共下水道工事を、令和4年度に増井地区を完了し、すぐに磯野地区に入ると言っていた。磯野地区の工事着工が令和8年度以降と聞くと、遅れている理由は、

町長 現時点で磯野地区は県の事業計画に含まれていない。

県の計画の見直しが行われ、令和7年度にあるため、磯野地区を町の事業計画地区に追加する。つまり、事業が行われるのは、令和8年度以降になる。

猿田 県の計画に磯野地区は入れておらず、更には国への事業認可申請もまだしていない。



猿田 磯野地区の道路拡張整備計画を出し、道路整備と下水道工事を同時進行させる等の一連の動きは、県・国への申請の遅れを隠れ蓑にしていると取られても仕方ない。磯野地区の方々は、下水道が完備され快適な生活環境を待ち望んでいる。肅々と丁寧に進めていただきたい。

指定管理者と開発公社について

《町長》責任を持って、経営を立て直す

猿田 アツマーレグラウンドの刈り取った芝を、町の職員が袋詰めし、軽トラックで環境センターまで運んでいる。多い月は週3〜4日、1日に3〜4往復しているがなぜか。

まちづくり戦略課長 グラウンドの芝の処分は、指定管理者募集要項で町が行うと明記されている。

猿田 人件費と焼却処分代を町が持つ必要があるのか。民間企業のため無償で芝管理をする事は、特定業者との癒着、町民に対する背任行為である。

本来芝は、産業廃棄物扱いで指定場所に運ばなければならない。しかし、町職員が環境センターに持ち込む



アツマーレグラウンド

と無料になる。こんな勝手な解釈は納得できない。即刻町職員の芝処分を止めさせ、本来の仕事に従事させるべきだ。

猿田 ホロルの湯の入湯税未納の原因は、入館時受付者のチェックミスだが、今後の対応と理事長としての責任は。

町長 ミスを追及し改善する。そして、自分が責任を持って開発公社の経営を立て直す。

猿田 入湯税条例の罰則規定で、処罰する側（町）と、処罰される側（開発公社）が同じ町長では、正しい罰則は出せない。直接の関係者・顧問税理士を含めた第三者委員会を立ち上げることを望む。

議会の動き

研修報告 議会運営委員会
令和5年8月1日から2日

長野県軽井沢町議会を、視察して
参りました。



オンライン会議を開催

新型コロナウイルス感染症を機に、令和4年からオンライン会議で委員会を開催。

議会改革・活性化の取り組み

平成20年度から「議会報告会」を開催。
議会の監視機能や町政に関する情報提供などを町民に直接行い、議会活動に対する批判や意見、町政に対する提言等を直接聴取することで、議会の機能も高めている。

研修まとめ

軽井沢町議会では、まちづくりには住民参加が重要と考え、積極的な住民との意見交換や若者にも関心を持ってもらう取り組みを行っており、大変刺激を受けました。とても有意義で実のある研修となりました。

* — *



表紙の写真
お茶会 令和5年9月1日

役場3階会議室で、お茶会が開催され、議会議員が参加しました。花と茶教室主宰 加藤木和子先生と教室の生徒さんがお茶をたててくださいました。

落ち着いた雰囲気の中、
美味しいお茶をいただきました。



加藤木和子先生(左から4番目)と教室の生徒さん、中央は上遠野町長(左から6番目)、阿久津議長(左から7番目)、片岡副議長(左から8番目)



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をしました。

デマンドタクシーについて
(令和4年10月)

町長の選挙チラシに、免許返納後の移動に、町外まで行けるタクシー導入とある。復路も可能か。町外とはどこまで対象なのか。

質問

遠距離通学の児童生徒について
(令和3年6月)

統廃合にならなかった学校の児童は、遠距離でも徒歩や路線バス、保護者の送迎で登校している。バス代の補助を求める。

デマンドタクシーを増便し、町外まで行くことを検討

様々な公共交通の福祉タクシーなどを組み合わせ、安心な体系を作り上げていく。

答弁

検討したい

スクールバスの運行ルートの一部変更、石塚小の路線バスの補助を検討したい。

現在の状況は、こうなっています

町外運行の実施に向けて協議を進めている

現在、町民の代表者やバス・タクシー事業者で構成される城里町地域公共交通活性化協議会において、デマンドタクシーを含め様々な交通手段を模索している。

令和5年度から小学校遠距離通学助成金事業を始めた

自宅から町内の小学校までの通学距離が概ね2kmを超える児童で、路線バスを利用している場合は定期券購入費用の金額を、自家用車で送迎している場合は通学距離に応じて上限金額2万円を助成している。スクールバスの運行ルート等は、令和6年度の運行開始に向けて現在見直しをしている。

編集後記

登壇者が男性ばかりの会議や委員会（パネル P A N E L）は「マネル M A N・E L」と呼ばれ、廃止するのが世界の潮流だそうです。

我が町議会では、第三回定例会で、女性議員三人全員が一般質問を行い、すばらしい提言を行いました。

男性議員も、女性議員に負けないよう努力し、切磋琢磨して、町をより良くしていければと思っています。

飯村 栄 記

議会広報委員会

委員長 桜井 和子
副委員長 藤咲 美美子
委員 飯村 栄

綿引 静 男
金長 秀 範
高橋 裕 子